



### 一口法話

天真寺副住職 西原 龍哉



銀座三越の屋上にお地藏さまが鎮座していらっしゃいます。その名も、「出世地蔵」。名前の由来は、明治初期に土の中から見つかったお地藏さまが百貨店の屋上まで『出世』したことからこう呼ばれるようになったそうで、多くの方が出世を願ってお参りされています。「出世地蔵」では月に1度の法話会が開催され、先日コロナ禍以来4年ぶりの再開となり、その第1回目にお話をさせていただきご縁に恵まれました。



今年3月にNHKの『無敵のボイス』という番組に僧侶として出演し、元TBSアナウンサーの吉川美代子さんと共演させていただきました。その時、「葬儀ではお布施の金額によって読むお経は違うのですか」と質問をされましたが、浄土真宗では宗派で葬場において読むお経が決められているので違いはないことをお伝えしました。

一般では、お経の功德で亡き人を救うと考えます。カルト宗教では、お布施の多少によって地獄に落ちると脅され生活を滅茶苦茶にされることまであります。しかしそれは人間のはからいの世界の話です。仏さまの願いは、自ら功德を積むことのできない悲しいのちを必ず浄土に迎え取る、あなたを見捨てない、どこまでも一緒だよとお誓いいただきます。そのお心が表されているのが立姿の仏さまです。



日本全国、さまざまな仏像があります。宇治の平等院や鎌倉大仏など、世間に知られる阿彌陀如来は座っています。座像は智慧の眼によって物事を明らかに見つめる平安の境地を表します。一方、立像は『観無量寿経』のシーンを基にしています。お経典の中で、韋提希夫人(いだいけふにん)が危機的な状況に陥った時、阿彌陀如来は忽ちその前に立って現れました。幼い子供が車道に飛び出そうとしたら親はどうするでしょうか。すぐさま立ち上がり叫び走り出すでしょう。衆生を救うため座ってはおられないという阿彌陀如来のお心が立像には表されているのです。



阿彌陀如来は、「南無阿彌陀仏」の声の仏さまとなり、私に届いてくださっています。親鸞聖人が90年の生涯をかけてお示しくださったのは、「ただ念仏」の道です。自らの力でさとりをひらくことができないものを救う阿彌陀如来の本願力です。そのはたき信じお念仏の道を行ってこそ、巡り続けてきた迷いの世界から、仏さまの世界である浄土に生まれさせていただくのです。涙を流し、苦しみ悲しみ、孤独に打ち震えながらも必死に生きている私があります。そのいのちを見捨てることができないと、南無阿彌陀仏となり、私のいのちに飛び込んで、ご一緒くださっている仏さまが阿彌陀如来なのです。

ところで、銀座三越の出世地蔵さまは何ともいえない愛らしい表情をしていらっしゃいます。余談ですが、地下一階では出世地蔵饅頭も売られていて、いただいたら美味しかったです。ぜひ皆さまも銀ブラの折にでもお参りしてみてください。



### 今月の行事予定

2023年 7月

日	月	火	水	木	金	土
						1 10:00納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ
2 7:00日曜礼拝 ●	3	4	5			8
9 7:00日曜礼拝 ●	10	11	12			14 15 13:30グランドゴルフ
16 7:00日曜礼拝 ●	17 海の日	18	19 11:00~17:30駄菓子屋くるくる	20 13:30法話会 ●	21 【講師】雲林重正師(新潟)	22
23 7:00日曜礼拝 ●	24	25	26	27	28	29
30 7:00日曜礼拝 ●	31				8月の予定 13日 やすらぎ堂 お盆法要 14・15日 天真寺 新盆法要・お盆法要	

一緒にグランドゴルフしませんか。毎月第1・3土曜日13:30~。参加者募集中です！体を動かして茶話会もあって楽しいですよ。

### 天ちゃんの一言

- 8月14日・15日両日とも 午前「新盆法要」 午後「お盆法要」  
新盆法要は亡くなって初めてのお盆を迎える方がつとめます。今年、新盆法要の対象となるご家庭には7月中に個別に案内をお送りいたします(葬儀のご縁のあった方)。また各家の法要(一般のお盆法要・新盆法要どちらも)も承りますので、お寺までお早めにご相談ください。
- 駄菓子屋カフェ「くるくる」がくる！7/19(水)天真寺駐車場11:00~17:30  
子供の居場所作り&子育て孤立防止の為の市の活動です。参加自由。
- 仏事のご相談、お墓のお悩みはお寺までお気軽にどうぞ  
**天真寺が管理する「永代合葬墓」があります**  
★「やすらぎ堂」(松戸・大町やすらぎパーク内) 管理費なし  
★「あんのん堂」(親鸞聖人のご廟所・京都大谷本廟内) 管理費なし  
★ 一時預かり「納骨堂」(天真寺2F) 年間管理費 1万2千円  
いずれも空きがございますので、お考えの方はご相談ください。
- 天真寺ホームページで住職、副住職のブログを連載しています

住職のブログ「住職の独り言」 [blog.goo.ne.jp/ranman\\_kn](http://blog.goo.ne.jp/ranman_kn)  
副住職のブログ「天真寺通信」 [tenshin.or.jp/](http://tenshin.or.jp/)

### 入会随時募集 門信徒会

に入りませんか



お寺のお仲間になって、一緒にお参りしませんか。仏法を聞き自らを見つめる時間は、人生にとって大切なものです。

毎月、寺報と仏教雑誌を送付します。どなたさまもご入会お待ちしております。

〈年会費〉  
一戸：3千円

〈ゆうちょ払込先〉  
天真寺門信徒会  
00130-6-567186



お寺の掲示板の言葉

人の善悪(さが)  
聞けば我が身を 咎(とが)めばや  
人は我が身の 鏡なりけり <良寛聖人>



# 法話会

一緒に仏さまのお話を聞きましょう

ご参加どうぞ自由に！  
どなたさまもウェルカムです



【日時】 7月 20 日 (木) 13:30

【講師】 くも ばやし しげ まさ 雲林 重正 師 (新潟県長岡市 浄秀寺副住職、本願寺派布教使)

長岡市を中心にターミナルケア(終末期医療)の病院などでビハラー僧として熱心に活動をされています。あたたかなお人柄と穏やかな語り口で仏さまのお話を聞かせてくださいます。三女の父、好きな食べ物はカツカレー、畑仕事とDJも嗜まれるとか。

オンライン参加はこちらのQRコードから

【場所】 天真寺本堂

どなたさまも自由にご参加いただけますので、ぜひお参りください。茶話会の開催は状況を見て判断してまいります。



★ 自宅でオンラインで見られます→<http://www.koumyou.net/tenshin>  
天真寺のHP([tenshin.or.jp](http://tenshin.or.jp))からも簡単に見られます「天真寺通信」からクリック！

## 住職の独り言

天真寺ホームページで連載中

### ■ 追憶の涙 (6/12掲載)

「妹の涙」母を看取り抜いた妹は 涙を見せず 母の遺骨をサクサクと拾った それから半年過ぎ 整形外科の待合室を 母に似た患者さんの車椅子がよぎった 妹はポロポロと涙を零(こぼ)した (和歌山市 滝本信雄さん 77歳) 誰しも葬儀の時は世事に追われ、目の前にあるやるべきことで精一杯になり、別れの事実をなかなか受け入れられないものです。葬儀を済ませ、心に余裕ができた時、人を見つめ自分を見つめる時間ができるのかもしれませんが。

### ■ 豊かな森 (6/11掲載)

森は色々な樹木や動植物から成り立っている。もし、自分だけ良ければいいと考えるならば、森の種類は一種類だけになってしまうだろう。

そうではなくて、お互いに自分がないものを分け合い補い合うからこそ豊かな森となる。あらゆるいのちにとっての居場所となるのだ。人間世界も然りでありましょう。



### ■ 賢い人 (6/10掲載)

本当に賢い人は 自らの愚を知りたる人  
み教えの前では法を聞き自らを愚か者と思えども 門を出たなら賢者になっている 愚かな私  
南無阿弥陀仏

### ■ ショック! (6/5掲載)

大腿骨を骨折して入院中の前坊守のお見舞いに行った時、看護の人から「ご主人ですか？」と問われた。「え!!!」私が10歳の母親の連れ合いに間違えられるとは…言葉も出なかった。いずれにしても老々介護には違いありませんが。驚いた出来事でした。



ありがとう  
ごさいまけ



感謝! 5/21 永代経 & 門信徒会総会がつとまる

会長の  
ご挨拶



3年ぶりに門信徒会総会を開催しました。お寺のこれからを皆さんと話し合う貴重な時間となりました。参加の皆さん、役員の方々に感謝です。



午後は永代経法要。天真寺の総追悼法要ともいえる大切な法要です。お寺がある限り毎年つとめられ、お念仏の音が末代へ続いていきます。



総会 & 法要の司会は弟子丸さんです。



門信徒会熊谷会長からご挨拶をいただきました。



法話は副住職。宗祖のみ教えをお伝えしました。



最後に住職から謝辞を申し上げました。



久しぶりの茶話会で、皆さんとお顔を合わせることができました♪



門信徒会の熊谷です。午前中に門信徒会総会が開催され、本年度の計画が固まりました。「法話会」の充実を図り、ともに聴聞する仲間を増やすことを中心に据えて参りたいと考えております。その他、予定として明示できませんがバス旅行や勉強会等を企画したく考えております。こんなことをしてほしいという案がございましたら、ぜひお聞かせいただければと存じます。この一年役員一同、微力ではありますが全力を尽くしてまいりますので、ご支援くださいますようお願い申し上げます。今年もまた永代経軸が内陣に荘厳されております。故人の法名を見出して、懐かしく故人の思い出に触れた方も多いかと思います。永代経の懇志は、永代にわたって法座や諸堂の維持など、お寺が存続し、「み教えがますますひろまるように」との心で納められるものといわれております。永代経法要をつとめることによって、報恩の営みをするともに、自身の聞法のご縁をいただくことができると信じております。本日は「永代経法要」によるこそお参りくださいました。



役員さん一同です。どうぞよろしくお願ひいたします。お寺はご門徒さんと役員さんのお力で成り立っています。活動を手伝ってもいいかな、と思ったださる方がいらっしゃいましたらぜひお寺にお声かけください。お待ちしております！